

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東京都国分寺市泉町 2-9-1 西国分寺ライ フタワー 2F
園名	アスク西国分寺保育園

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

たいそう

<テーマの設定理由>

- ・トランポリンや縄跳び、ボールなど日頃から戸外や室内で体を動かすことを楽しんでいる。
- ・コーナーを作ることでいつでも好きな時に体を動かせる場がある。

### 2. 活動スケジュール

- ・2025/6/16 日常でよく行うの動きは体のどこを使っている？
- ・2025/7/8 「あるく」「くぐる」を知ろう
- ・2025/8/25 ボールで遊びを考えよう
- ・2025/9/29 縄を使った遊びを考えよう
- ・2025/10/23 自分の気になる動きを追求しよう
- ・2025/11/17 様々な道具を使った遊びを考えよう
- ・2025/12/22 自分の気になる動きを使った遊びを考えよう
- ・2026/1/26 考えた遊びをみんなであそんでみよう

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

大縄跳びスタンド、平均台を備品として購入。購入品は後半にかけて自分たちで遊びを考えていく中で、一つの道具の選択肢として使用。平均台を自分たちで組み立ててサーキットを作ったり、縄跳びスタンドを使用してルールのある遊びを実施するなど活用していった。

その他、園にあるハイハイ板、フラフープ、ボール、トランポリン、マット、机や椅子、大きな積み木等を使用。円にあるものは使用を許可し、自分たちで遊びを考える中で安全面に気付けるような働きかけを行った。十分に体を動かしたり、道具を広げられるような空間を確保できるようロッカーなどを動かして環境を整えた。

### 4. 探究活動の実践

#### 【3歳児実施分】

問いを考える：

子どもたちが自身の体や動きについて関心をもち、考えられるよう体操講師と声掛けや働きかけを工夫した。様々な動作が描かれたイラストを見ながら、興味のあるものを選び「どんな動きか」「ほかにどんな動き方があるのか」「体のどこを使って動いているのか」「動きからできる遊びは」などの問いかけを行った。またマットを使用し2チームに分かれて動き方から遊びへの探求を行った。

探究活動の様子：

子どもたちは「はう」「止まる」「くむ」「立つ」「くぐる」「おす」などの身近な動きについて、保育者や体操講師問いかけから、実際に体を動かして探求を行った。一人が知っている動きをやってみると、一緒に真似をして体を動かす姿が見られた。

「はう」ではイラストを見たり、保育者と一緒の行方中で「へびさんじゃない？」という子どもの気づきがあった。「止まる」では「どういう動きから止まるになるんだろう？」の問いかけに「歩く」がプラスされ、「歩く」からの「止まる」へと繋がる場面が見られた。「くむ」の動きではイメージしにくい様子も見られたが、お友だちと手を繋ぐ、腕をくむことが「くむ」と分かると座って「くむ」から「そのまま立てるかな？」の問いかけにどうしたら手を組んだまま立てるのかを試行錯誤しながら友だちとやってみる姿が見られた。また「くぐる」「押す」については2チームに分かれて、マットを使ってどんな遊びが出来るのかをそれぞれ考えた。「くぐる」のチームではマットをトンネル状にして「くぐる」。「おす」のチームは体操講師がもったマットを子どもたちが「おす」遊び

を提案。またボールを使った活動では、「なげる」の動きを探求。どうしたら高く投げられるか、遠くへ投げられるのか試しながら子どもたち同士教え合ったり、見せ合ったりする姿が見られた。

ふりかえり(保育士の気付き)：

子どもたちが日常使っている動作について分かりやすく、イメージしやすいように問いかけるよう工夫した。当たり前になっている動きを改めて考えることで、様々な例えや意見が子どもたちから出てきた。また普段の保育活動の中でも「あるく」「はしる」などの動きの名前を言う場面が見られ、どんな遊びがあるのかというのを考える時間にもなった。自分たちでイメージし、考え、提案を発表できるようサポートを行った。

#### 【4歳児実施分】

問いを考える：

- ・「あるく」「はう」「たつ」「すわる」などの日常的な動きは体のどの部分を使っているのか。
- ・ボールで出来る遊びを考える。
- ・縄で出来る遊びを考える。
- ・自分の気になる動きをやってみよう。また、その動きで出来る遊びは何があるのか考える。
- ・様々な道具を使って遊びを考える。また、安全な遊び方はどんな遊び、環境か。

大きく、動きのテーマを決めながら、チーム分けして自分たちで考える時間を取った。その中で、安全な動きを意識しながら、自分たちで出来る遊びはどんなものか問いかけた。日常の動きや遊びをヒントに自分たちでルールを決めたり、空間の中で遊び場を作っているような環境を作った。

探究活動の様子：

- ・イラストを使って、自分のやってみたい動き、知っている動きを見て反応する姿があった。イラストのように体を動かしてみながら体のどこの筋肉を使っているのか保育士と一緒に考えた。筋肉への理解がまだ難しいので、体を動かす中でどこが痛むかなどの単純な考え方で試そうとする姿があった。椅子に座るという動作では、実際に椅子に座ってみたり空気椅子を行ってみることで使っていると感じる部位を「おなか」と答える子が居た。

・ボール遊びでは「なげる」「転がす」という2チームに分かれた。チームごとに意見を出し合う時間を作ったが、なかなか意見が出なかった為年長児と一緒に取り組んだ。投げの遊びでは下投げ、上投げとさまざまで、投げ方によってボールの勢いが違うことに着目する園児も居た。

・園内にある様々な道具を使って遊びを考えるためチームごとに考えていった。「すべる」「のぼる」などイラストを見て遊具遊びで行った動きだと結びついた園児が居たので、その二つの動作に絞って遊びを提案した。滑り台を作りたいとの提案をした園児が居たので、園にあるもの滑り台を作ることになった。「なにですべる?」「ハイハイ板でやったことあるよね」という会話からハイハイ板の使用に決まったが、高さが足りないとの話が出た。高さを出すために積み木を使ったらいいのではないかと、そもそもハイハイ板ではなく跳び箱の方が高さが出るのではないかなど、自分たちの今までの経験から知恵を出し合いながらどのように組み立てたら良いか考えることが出来ていた。

ふりかえり(保育士の気付き):

自分たちで会話を広げて、考えたり試したりすることが難しいクラスであったので、保育士が助言しながら一緒に考える時間を作った。言葉ではイメージがしにくく、自分の体を使って何度も試す時間がある事で体で理解する姿に繋がっていた。実際に自分たちで遊びを1から考えることはまだ難しかったものの、「こんなものもあるよ」などと大人が道具などをヒントとして与えることで考えやひらめきの幅が広がったように感じる。

新しい遊びを1から考えるよりも普段遊んでいることをヒントに、経験のある動きや楽しんでいることをさらに遊びとして展開していくことが、4歳児の楽しさに繋がると感じたので、「こんなゲームしたことあったよね」「わなげににってるね」など子どもたちの経験と動きを結び付けるような言葉がけをしていった。

後半期では発表の場の中で、こんなことを閃いて、こんな遊びになったという事を共有する喜びに繋がっていたので、チームごとに教え合って遊ぶ時間を大切にしたい。遊びが保育にも繋がったので、作った遊び道具を取っておいてそのまま遊ぶなどして遊びの広がりやの目込む姿を見守った。

## 【5歳児実施分】

問いを考える：

・「あるく」「はう」「たつ」「すわる」などの日常的な動きは体のどの部分を使っているのか。

・ボールで出来る遊びを考える。

・縄で出来る遊びを考える。

・自分の気になる動きをやってみよう。また、その動きで出来る遊びは何があるのか考える。

・様々な道具を使って遊びを考える。また、安全な遊び方はどんな遊び、環境か。

大きく、動きのテーマを決めながら、チーム分けして自分たちで考える時間を取った。その中で、安全な動きを意識しながら、自分たちで出来る遊びはどんなものか問いかけた。日常の動きや遊びをヒントに自分たちでルールを決めたり、空間の中で遊び場を作っているような環境を作った。

探究活動の様子：

日頃から自分たちで遊びを展開したり提案することが好きなので、道具や動作を見て遊びをどんどん思いついていた。ボールでは、クラス内にあるままごとのボウルや、かごを持ってきて、「この中に入れたら勝ち！」などゲームをすぐに始めていた。

縄を使って遊びを考えた際には、しばった縄を障がい物として設置してぶつからないように歩くゲーム、縄を宙に浮かせたいと保育士に要求して天井からつるし、届くかジャンプする遊びなど、身の回りのモノを様々な角度から使用してみたいと考えていた。その中で、危険、安全についても保育士と一緒に考え、数人で行った方が良いのか、周りに危険な物はないかなどよく見渡し、「椅子が危ないから動かした方が良く思う」「みんなでやったら怪我するから一人ずつ！」などルールや案を皆に共有していた。

道具一つでも、普段行っている動きとは異なるものをゲームとして取り入れられないかを探求した。

ふりかえり(保育士の気付き)：

4. 5歳児合同でのすくわくであったので、率先して発言しながら年中児をリードしていく姿に繋がった。実際に出た意見を共有する中で自分たちで発表する場を設けたことで、決めたルールや案を整理しながら周りに伝えていく力に繋がっていたと思う。

保育士のアイデアがなくとも、やりたい遊びやゲームが出てくるので近くで見守りながら

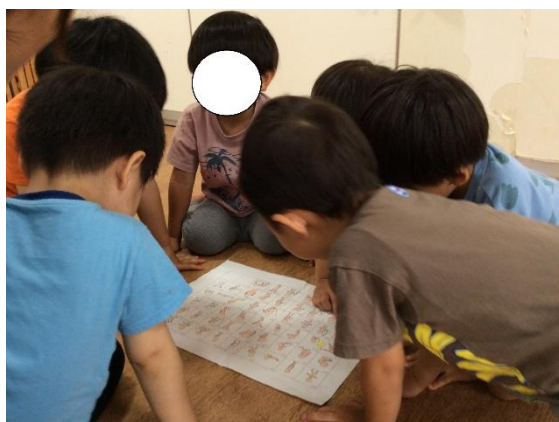
アイデア一つ一つを一緒に面白がりながら試していけるような環境、時間を作った。危険なことも、危険だと止めるのではなく行って見てどこを改善すべきか、皆で楽しめるルールはどんなものがあるのかを訪ねながら自分たちで考えられるような促しをしていった。また、楽しんでいることは言葉で楽しさを共有し、子どもたちが自分たちで相手チームに伝えてクラスとして一緒に楽しむ嬉しさを感じられるような発表の場を設けた。

## 5. 活動の様子が分かる写真

### 3 歳児



貼付してください。  
[可能なものを使用ください。]



## 4 歳児

活動の様子が分かる写真 2 枚以上を貼付してください。



(H Pなどで公開する可能



性がありますので、公開可能なものを使用ください。)

## 5 歳児



活動

の様

子が

分かる

写真 2 枚以上を貼付してください。

(HP などで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用してください。)

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東京都国分寺市泉町 2-9-1 西国分寺ライ フタワー 2F
園名	アスク西国分寺保育園

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

おんがく

<テーマの設定理由>

- ・園にあるものや素材、自然物を使った製作を楽しんでいるので、音楽に繋げ、更に楽しみを広げていきたい。
- ・園の周りには自然が多く、自然に触れ、自然物への興味もあり、楽器の材料集めが出来る環境が整っている。

### 2. 活動スケジュール

- 2025/6/5 身近な物を使った音を楽しもう
- 2025/7/17 前回の延長 素材によって音は変わるのか実験しよう
- 2025/8/7 空き缶を使った楽器作りをしよう
- 2025/9/4 氷の音を楽しもう
- 2025/10/1 楽器の種類を知ろう
- 2025/11/13 戸外で拾った物で楽器を作ろう
- 2025/12/4 様々な身近な物で楽器を作ろう
- 2026/1/19 今まで作った楽器で演奏会を開こう

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

紙コップ、カップ、缶、等を購入。

また、季節によって子どもたちがその時期に興味のある玩具や氷、ドングリ、まつぼっくりなどの自然物を使った楽器製作を作れるような材料を準備。時期によってさまざまな曲調、季節感のある音楽での合奏の場を作った。

### 4. 探究活動の実践

#### 【3歳児実施分】

問いを考える：

お部屋にあるものや身近にあるものを使用し、何の音か、音の違いはあるかななどの問いかけから、子どもたちが音探し、音遊びを行った。また知っている楽器を身近なもので制作。どうしたら音が鳴るか、どう作ったらいいかを子どもたちに問いかけながら制作した。

探究活動の様子：

音楽講師が用紙した紙コップにビー玉やストローを入れたものの音を聞いて何が入っているのかを考えた。その後、自分たちでも部屋にあるものをコップや牛乳パックに入れて音の違いを楽しんだ。「こんなおともあるよ」「これはちがうおと」など2チームに分かれてそれぞれ音探しを行った。楽器作りでは、身近な容器を使って太鼓を制作。容器によって音が違うので、それぞれ聞かせ合ったりする姿が見られた。次の楽器作りでは紙コップとどんぐりを使って制作。「どうしたら音が鳴る楽器ができるかな」の問いかけに、今までの経験からイメージし、紙コップにどんぐりを入れる、そこに蓋をしたいけどどうしよう…となっていたところ「カップ(おままごと用)をふたにするのはどう?」と提案が上がり、テープで貼って制作。「コトコトする」「カラカラ～」と聞こえる音を楽しんだ。様々な制作を行う中で音の違いや音を言葉で表現すること、音の高さがあることも知ることが出来た。

ふりかえり(保育士の気付き)：

身近なものから音について楽しめるよう工夫し、子どもたちが積極的に音について言葉で表現したり提案が出来るようサポートした。楽器作りでは難しくならないよう、手本を示

したり、友だち同士考えながら制作できるよう考慮したことで、子どもたちがイメージしたものが出来あがった。様々な音、鳴らし方が楽しめるよう声をかけすぎないようにし、子どもたちの言葉を大事にしていった。始めたころは「ちがう」だけだったが活動を進めるうちに「これは〇〇なおと」「これはこうやってきこえる」など具体的に言葉で伝えられるようになっていく成長が見られた。

#### 【4 歳児実施分】

問いを考える：

身近な物を使って、集めたりしてカチャカチャと音を楽しむ姿があったので、身の回りのもので自分だけの楽器を作って演奏を楽しめるような環境を作った。実際にクラス内にある物や戸外で見つけたものでどんな音が奏でられるのか、身近な物で出来る音に着目できるような問いかけをした。普段の生活の中で、「いい音がする」などという声もあるので、拾って楽器作りに繋げていったり、音の違いがどのような仕組みになっているのかなど調べたり試したりできるよう促した。

探究活動の様子：

ままごとで使用しているおはじきや、ビー玉などの普段触っているおもちゃをカップに入れて音を鳴らすと、中身の量を調節する姿があった。中身の量を何度も試して、音の違いを比べ「少し音が高くなった気がする」など、高低差にも目を向ける姿があった。

また、戸外で拾った物をマラカスにした園児は、細かな貝殻のようなものを紙コップに入れて振り、「砂浜の音」「海みたい」と聞いたことのある音と結び合わせていた。

前半は、カップに入れて振る、というワンパターンな楽器での演奏を楽しんでいた。9月にわくわくコンサートという演奏会を見学した経験から、鍵盤ハーモニカやピアノなどの楽器への興味がわいていたので、楽器の種類を知ることが出来るよう様々な種類の楽器に触る時間を設けた。楽器の種類を知ったことで、太鼓のように叩いたり、ウッドブロックのように箸を使って叩いたりと経験したことを遊びに繋げて、表現の幅が広がっていた。また、楽器の種類（体鳴楽器・膜鳴楽器・弦鳴楽器・気鳴楽器・電鳴楽器）を知り、楽器ごとにチーム分けをして演奏会を行った。音の違いを耳で聞き分け、「あったかい音」「激しい音」など分類することも出来ていた。

ふりかえり(保育士の気付き)：

音に着目できるよう、音を鳴らして楽しんでいる際に「きれいな音がでたね」「どうやって音を鳴らしたの」など子どもたちの奏でる姿を見守り興味を引き出せるようにした。作った楽器で演奏する時間を必ず設け、自分の音だけでなく、友だちが作った楽器の音にも目を向けられるようにしたり、全員で一斉に行うのではなくチームごとに合奏できるようにした。子どもたちが、マラカスの中身を調節したりと自分たちで好きなように音を試せるようじっくり音に向き合う時間を設けることが出来た。また、音を聞いて「中に入れたんだね」「細い棒と太棒だと音がどう変わった？」など構造に目を向けられるような声掛けが出来よう工夫した。

#### 【5 歳児実施分】

問いを考える：

身近な物を使って、集めたりしてカチャカチャと音を楽しむ姿があったので、身の回りのもので自分だけの楽器を作って演奏を楽しめるような環境を作った。実際にクラス内にある物や戸外で見つけたものでどんな音が奏でられるのか、身近な物で出来る音に着目できるような問いかけをした。普段の生活の中で、「いい音がする」などという声もあるので、拾って楽器作りに繋げていたり、音の違いがどのような仕組みになっているのかなど調べたり試したりできるよう促した。

探究活動の様子：

自然物が好きなので、ひょうたんを使った楽器作りに興味津々だった。ひょうたんの中に種が入っており、カラカラと音がることに気付き、ひょうたんを開けたいとの声が上がった。実際に子ども退がやってみたいこと、どうなっているのか知った上で楽器に出来ないか考えていることを丁寧に見守った。自身でくり抜いたり楽器になるような構造であることへの気づき、何で音を鳴らそうか考える姿があった。一つのこと集中してと陸M、自分の気に入るまで試して調節するなどといった探求心が見られていた。

ふりかえり(保育士の気付き)：

自然物と、玩具を上手く組み合わせで楽器を作っていたので、組み合わせを面白がり演奏を一緒に行うなどして楽しい空間を作った。様々な楽器を触った際には、「鉄で出来てるのかな」「電池ないとどうなるの?」「これは何でできてるの?」など、楽器の構造に興

味を持つ園児が居た。そのまま図鑑で調べてみたり、楽器の中身をのぞいてみたりと一緒に探求できるよう促した。

演奏会では、指揮者をやりたいとの声も上がったので、子どもたち自身でやってみたいことを尊重して体験できるようにした。身の回りのもので楽器が出来る喜びや、皆で演奏する楽しさ、日常は音で溢れていて、様々な音を自分で作れるおもしろさなど共有していった。

## 5. 活動の様子が分かる写真

### 3 歳児



分かん  
可能性が



い。  
使用ください。)



## 4 歳児

活動の様子が分かる写真 2 枚以上を貼付してください。



(H P など で公開する可能性があります)



ますので、公 開可能  
なものを使用ください。)

## 5 歳児

活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付してください。



(HP など



公開する可能性があります



ので、公開



可能なものを使用くださ

い。)